

教員の方に向けて

本ゲームは、小学校学習指導要領社会編（平成29年度7月告示）第3章 第5学年 内容（5）に対応するものです。この内容では、日本の国土の自然環境と国民生活との関連に関する内容を学習する中で身に付ける事項が示されています。

● 本ゲームの活用の仕方

本ゲームは、子ども達が、今起きている自然災害や環境問題、森林資源の働き、公害について学習する際に、学習内容に興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組むための学習のきっかけとなるようなゲームを目指して制作しています。今のような問題が地球上で起こっているのかを知り、その問題についてどのように向き合ったらよいかを自分事として考える教材として、単元や授業の導入で活用することをお勧めします。

● 子ども達が身に付けられる能力

本ゲームを遊ぶ中で、子ども達は、様々な環境問題が起きていること、環境問題が発生している要因として自分達の行動が関わっていることを知ることが出来ます。また、ゲームをする中で、環境問題に対してどのような取り組みができるのかをグループのメンバーと共有することを通して、自分の考えを他者に説明する力や他者の意見を受け入れる力、他者のアイデアに沿って自分のアイデアを考える力などが身に付くと考えられます。

最後に

本ゲームは、多くのみなさまにご協力いただき、制作することができました。

●一般社団法人 東広島青年会議所（JCI東広島）

「修練」「奉仕」「友情」という三信条をもとに率先して行動するなかまたちによって東広島のまちに住民らす人々や子ども達の笑顔のため、よりよい東広島の「人づくり」「まちづくり」を通して“明るい豊かな社会の実現”を目指す組織です。

●広島大学 デザインサークル atorico

「デザインが好きな学生が集まったら、もっと面白いことができるんじゃないか？」という思いつきから生まれたデザインサークルです。まだまだ発足したばかりで、どんなことができるか模索中。ZINEの制作に始まり、フライヤーデザイン、ロゴマークデザインなど幅広い活動を展開していく予定です。

●ひとあそび。

子どもへの学びのきっかけの提供と居場所づくりを目的に活動する、広島大学の学生による団体です。主に、オリジナルの学習カードゲームの制作・販売やアナログゲームを用いたイベントの開催を行っています。

●東広島市 政策推進監 ●進徳女子高等学校 ●武田高等学校

（本事業は、東広島市SDGs活動補助金を活用しています。）



-説明書-

はじめに

● 「えんばいろ～みんなのまちの環境を考えるカードゲーム～」とは？

本ゲームは、環境問題の解決に向けたアイデアを創出するカードゲームです。ゲームのプレイヤーが環境問題に興味・関心を持ち、問題に対してどのような取り組みができるのかを広い視点から考えられるよう、シンプルなルールで楽しくプレイできるゲームを目指して制作しました。

● 取り扱う環境問題

環境問題とは、人々の活動の影響で地球環境に変化が生じて起こる様々な問題のことです。本ゲームでは、気候変動、汚染、騒音など幅広い環境問題について、具体的な事例を挙げて提示しています。



🕒 プレイ時間：20分 🧑‍🎮 プレイ人数：4～6人 👤 対象年齢：10歳～

入っているもの

カード68枚（問題カード18枚 取り組みカード50枚）/説明書（本書）

問題カード 18枚 （問題を提示するカード）

現在、地球上で問題となっている
環境問題が記載されている。



うら面



おもて面

取り組みカード 50枚 （問題解決に使えるカード）

様々なヒト・モノ・コトなどの資源が記
載されている。



うら面



おもて面

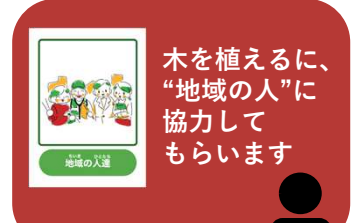
遊び方

- 1 「問題カード」と「取り組みカード」をそれぞれシャッフルし、裏面が見えるように2つの山札を作ります。
- 2 「取り組みカード」を各プレイヤーに5枚ずつ配ります。
- 3 「問題カード」の山札の一番上のカードをめくり問題を提示します。
- 4 手元の「取り組みカード」を使って問題を解決できるアイデアを思い付いたプレイヤーから順に、使用する「取り組みカード」を1枚場に出し、アイデアを説明します。

- ※ 「取り組みカード」を出したプレイヤーは、「〇〇を使って△△をします」というようにアイデアを伝えてください。
- ※ 後からカードを出す人は、前に出されたアイデアに加えて「私の持っているアイテムを使って、さらに△△します」と提案しても良いです。
- ※ アイデアが思いつかない時は、手札から1枚「取り組みカード」を選んで場に出し、他の人に意見を聞いてみましょう。



<森林破壊>



- 5 全員の意見が出終わったら、後から振り返りができるよう「問題カード」と「取り組みカード」をセットにしてまとめておきます。
- 6 各プレイヤーは、山札から「取り組みカード」を引き、手札が5枚になるようにします。そして、③～⑥の流れを繰り返します。5回繰り返したらゲームは終了です。
- 7 ゲームが終了したら、各グループで出たアイデアを振り返り、一番いい意見が出たと思う問題と取り組みを1つ発表しましょう。

最後に

各グループでどのようなアイデアが出たかを振り返ってみましょう。振り返る際に以下の3つの観点を参考にしてみてください。

--< 審査の際に参考とする3つの観点 >-----

- ①問題の解決に繋がっているかどうか（問題解決）
- ②今までにないアイデアかどうか（独創性）
- ③無理なく継続ができるアイデアとなっているか（継続性）

発展ルール

ゲームに慣れてきたら下のようなルールで遊んでみるのもよいです。

- プレイヤーが考えた環境問題に対して取り組みを考える
- 新しく問題解決に使えるような資源を追加する